複数の意見を読んで、考えよう ── 正解が一つに決まらない課題と向き合う ⑵

C　一人が踏み出す一歩は、実は大きな一歩　　堅達京子

気温の上昇を止めるために、すぐにでも取り組めることは、たくさんある。電気をこまめに消すこと。自転車や公共交通機関を使うこと。木を植えること。マイバッグを持ち歩き、プラスチックなど石油製品の使用を控えること。

だが、①そんな小さなことの積み重ねで、本当にこの状況が変わるのかと感じる人もいるだろう。

確かに、個人がこうしたことに取り組むだけでは、温暖化は止まらない。一人一人の直接的な力はとても小さい。しかし、もし膨大な数の個人が一度に行動を起こせば、どうだろうか。国や企業も活動の方針を変えざるをえなくなる。多くの人が行動を起こせば、間接的に世の中を動かす効果があるのだ。

身の回りでも既に変化は現れ始めている。例えば、店舗の電力を一部、再生可能エネルギーに切り替えたり、商品の包装を削減したりする企業が増えている。②私たち消費者が、持続可能性に配慮した商品を選ぶようになれば、企業の態度は変化する。一人が踏み出す一歩は、実は大きな一歩なのだ。

複数の意見を比較する

［テーマ］
環境問題を解決するために、今、何が必要か。

●真鍋さん
提言の要旨　まずは科学的根拠に基づいて環境問題の現状や原因を正しく理解することが必要であり、そのうえで有効な対策を講じることが問題を解決するための第一歩である。
事例　世界各地の観測データ、気候モデルの計算による予測。

●伊勢さん
提言の要旨　個人に負担を強いるのではなく、社会全体で環境問題を解決する工夫が必要であり、どのような考えをもった人にも通用するような現実的な仕組みが求められている。
事例　インセンティブを用いた政策。

●堅達さん
提言の要旨　市民一人一人が環境問題を自分のこととして捉え、行動を起こし、声を上げれば、国や企業の活動の方針を変え、問題の解決につながる。
事例　電気をこまめに消すといった個人の取り組み、店舗の電力を一部、再生可能エネルギーに切り替えるといった企業の変化。

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) Cの文章の――線①「そんな小さなことの積み重ねで、本当にこの状況が変わるのか」とあるが、この考えに対する筆者の主張として最も適当なものを選びなさい。

ア　確かに個人の取り組みでは温暖化を止めることはできないため、環境に配慮したとしても、小さなことの積み重ねでは状況に影響は与えないと言える。

イ　消費者による節電や石油製品の使用を控えるといった活動では世の中を動かすことはできないため、現在の活動の方針を変える一歩が必要である。

ウ　一人一人の行動の直接的な力は小さくても、多くの人が行動を起こせば国や企業を動かすので、間接的には状況を変える力があると言える。

〔　　〕

(2) Cの文章の――線②「私たち消費者が、……企業の態度は変化する」とあるが、企業の変化の事例が具体的に述べられている一文を探し、その最初の三字を答えなさい。

□□□

(3) 次の各文はどの筆者の提言について述べたものか。適当なものをそれぞれ選びなさい。

❶ 環境問題を解決していくうえで一人一人の行動の重要性を指摘しており、多くの人が問題を自分のこととして捉え、今すぐに行動することを呼びかけている。

❷ 環境問題を解決していくうえで社会全体で問題を解決する現実的な仕組みの必要性を指摘しており、具体的な例としてインセンティブに基づく政策を挙げている。

❸ 環境問題を解決していくうえで科学的な根拠に基づいた認識の重要性を指摘しており、問題の現状や原因をさまざまなデータをもとに説明している。

ア　真鍋さん　　イ　伊勢さん　　ウ　堅達さん

❶〔　　〕　❷〔　　〕　❸〔　　〕